

鎌ヶ谷市公共下水道事業 事業再々評価 (手賀沼処理区)

平成20年11月

千葉県鎌ヶ谷市

鎌ヶ谷市の概要

本市は東京から25kmに位置し、市内には、鉄道が3路線あり市内に8つの駅を有している。北総鉄道を使うと日本橋まで40分、新京成線では松戸駅・津田沼駅両駅まで20分程度、東武線では、柏駅・船橋駅とも20分程度で行ける交通に恵まれた位置にある

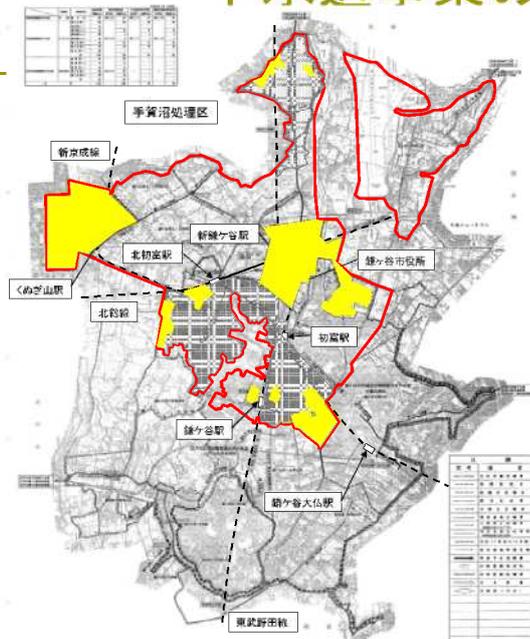


事業の必要性(汚水)

- 生活環境の改善
- 手賀沼の水質浄化
- 自然環境の保全



下水道事業の概要



凡 例	
	計画区域 (再々評価対象区域)
	既整備済区域 (平成10年度まで)
	既整備区域 (平成11年度～20年度)

指標1 費用効果分析

総 便 益 (B)	930億円
総 費 用 (C)	732億円
費用便益比(B/C)	1.3

指標2 事業の進捗状況

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は事業計画559haに対して391haを整備し、整備率は70%である。
供用開始区域の接続状況	手賀沼処理区の接続率は86%である
地元情勢	市議会の了解及び地元住民の協力は得られている。また、市民からの早期下水道整備への要望がある。

指標3 社会経済情勢等

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替え案

指 標	状 況
コスト縮減	埋め戻し材の改良土使用、路面復旧に再生材の使用等により、コスト縮減に努めている。
代替え案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(案)

鎌ヶ谷市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当該事業を継続していく方針です。

鎌ヶ谷市公共下水道事業 事業再々評価 (印旛処理区)

平成20年11月

千葉県鎌ヶ谷市

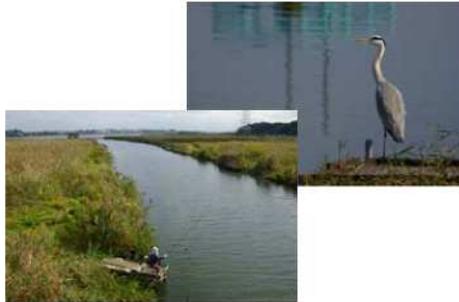
鎌ヶ谷市の概要

本市は東京から25kmに位置し、市内には、鉄道が3路線あり市内に8つの駅を有している。北総鉄道を使うと日本橋まで40分、新京成線では松戸駅・津田沼駅両駅まで20分程度、東武線では、柏駅・船橋駅とも20分程度で行ける交通に恵まれた位置にある

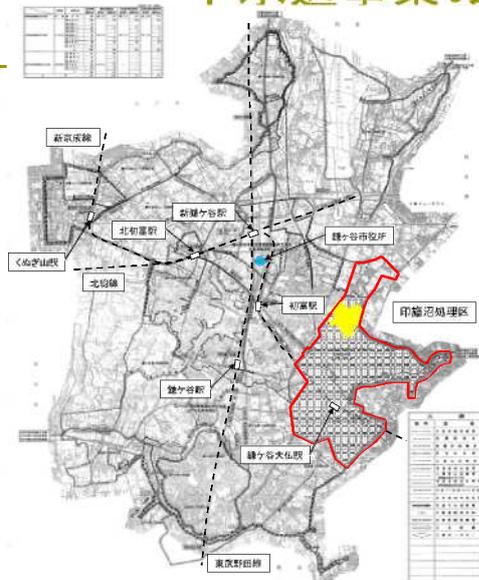


事業の必要性(汚水)

- 生活環境の改善
- 印旛沼の水質浄化
- 自然環境の保全



下水道事業の概要



凡 例	
	計画区域 (再々評価対象区域)
	既整備済区域 (平成10年度まで)
	既整備区域 (平成11年度～20年度)

指標1 費用効果分析

総 便 益 (B)	515億円
総 費 用 (C)	258億円
費用便益比(B/C)	2.0

指標2 事業の進捗状況

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画217haに対して213haを整備し、整備率は98%である。
供用開始区域の接続状況	印旛処理区の接続率は96%である。
地元情勢	市議会の了解及び地元住民の協力は得られている。また、市民からの早期下水道整備への要望がある。

指標3 社会経済情勢等

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じて適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替え案

指 標	状 況
コスト縮減	埋め戻し材の改良土使用、路面復旧に再生材の使用等により、コスト縮減に努めている。
代替え案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(案)

鎌ヶ谷市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当該事業を継続していく方針です。